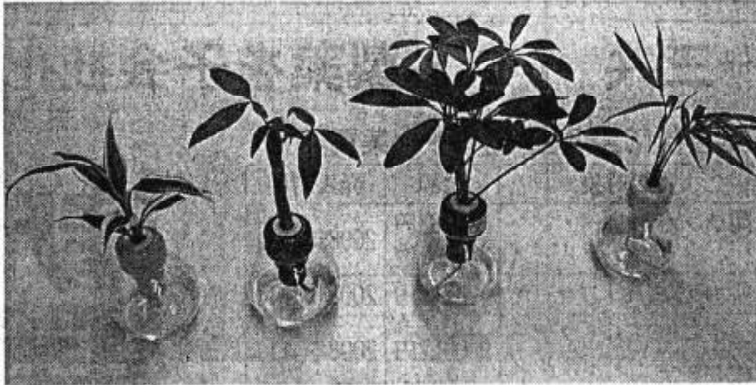


2008年6月12日

「フジサンケイ ビジネスアイ」掲載記事

<第三種郵便物認可>

月に1回程度の水やりで手入れ簡単な植物インテリア「セラハイト」



ハイトカルチャ

納品30日内なら無料交換

観葉植物に 枯死補償制

土の代わりにセラミックで栽培する室内用観葉植物「セラハイト」を発売している、緑化技術開発のバイオベンチャー、ハイトカルチャ(大阪府城東区)は、納品後30日以内に枯死した場合、無料で交換する「枯死補償制」を始めた。

植物が枯死した場合、販売店側が処分費用を負担するケースがほとんど

セラミックで栽培の室内用

店の安心感高め拡販へ

どだった。観葉植物の枯死による返品率が0.1%と極めて少ないことから、枯死補償制を導入すること

で、販売店側の安心感を高め、販路拡大を図る。セラミック栽培の植物

インテリア「セラハイト」は、土を使わないほか、水やりがほとんどいらないことから、家具売り場や雑貨店での販売が増えている。

一方で枯死による処分費用負担を懸念して販売をためらう店舗もあ

り、枯死補償制を打ち出すことで、潜在需要の掘り起こしにつなげる。

ピン容器の外側から水の量が分かるので、土栽培のように過剰の水を与えて根を腐らせたり、乾燥枯死させることもなく、水やりをしない状態でも1カ月以上もつのが特徴。

セラハイトは、表面に微細なすき間を持つ特殊セラミックに植物の根を接触させ、すき間を通じて根が栽培溶液を吸収し、生育させる。土に比べて水分蒸発が少なく、植物が吸

取する量の水だけで、効率良く栽培ができる。

セラミック栽培は観葉植物だけではなく、野菜栽培にも応用できるところから、「野菜工場」の計画も進めている。

同社は京都大学農学部部の赤井龍男・元助教(現同社会長)らを中心に1996年に設立、同技術を使って砂漠化が進む大地の緑化などにも取り組んでいる。